

独自開発で差別化！環境ハウス

会員企業紹介
わが社の
イチオシ



(株)三栄工業

代表取締役 戸部 和昌 氏 (沼田支部所属)

Q & A

▼会社紹介

当社は平成七年、四月にプレハブハウスの設計・製造・販売を中心業務として設立しました。

設立当初はお客様がゼロですから、営業活動に苦労した記憶が強く残っています。今でこそ県内はもちろん、関東一円、長野や新潟まで商圏が拡大していますが、商品が建築物ですので、一度建てればそれほど建て替える事はありません。そのために営業範囲を抜け新規顧客を開拓する必要がありました。

会社を作った経緯は「自分で何かやりたい」という強い思いを子供の頃から持っていたからで、建設業界で働きながら、自

分一人でひと通りの仕事ができるようになったタイミングで独立しました。

▼プレハブハウスとは

簡単に説明すると工場で材料を製作し、現場で組み立てる仮設ハウスです。そのメリットは、完成までの圧倒的な早さと、低コストにあります。例えば三十坪くらいの倉庫なら設計から完成まで五日くらい、建てるだけなら二日程度です。さらに当社では創業当時より、設計から組み立てまでを自社で一貫して行っていますので、お客様のご要望に合わせ、個人事務所の様な建物から、三百坪を超えるような大型の工場や倉庫まで対応可能です。

プレハブと聞くと、骨組みにトタンや鉄板を貼り付けた建物を想像するかもしれませんが、間違いではありませんが、そのイメージは過去のもので、技術と材料の進歩で見違えるほど進化しています。興味のある方は一度当社のホームページの施工例をご覧頂ければイメージが変わると思います。

▼イチオシのPR

当社では、断熱パネル構造材



を独自開発し、従来の外壁よりも機密性・遮音性・耐久性に優れた環境ハウスをご提案しています。これは耐熱パネル鋼板を使用した外壁と内壁の間に、硬質発泡ウレタンを注入し、一枚の壁材にしたもので、中の発泡ウレタンの厚さだけでも四三ミリあります。ですが、発泡ウレタンですから重くならず、従来のプレハブハウスと同じ工法で建設出来ます。価格は少し上がりますが、主流になりつつある商品です。

このパネルを開発したのは東日本大震災の少し前でした。その後、震災が起きてしまい、当社にも倉庫や仮設住宅の話が来りました。建設した物件全てにこの新しいパネルを使用し、東北の寒さにも対応する造りになっています。独自開発ですから、取り扱っているのももちろん当社だけです。そのため既存のお客様の増築など、今後の需要増

を期待しています。

▼今後の課題

軽量鉄骨構造の特殊建設の注文が増え、それに対応する技術力の向上が必要不可欠になってきました。設計、工場での製作、現場での組み立てと、関わる社員全員が対象です。そのために特別な勉強をするのではなく、一件でも多くの経験を積み、実際の仕事の中から技術・ノウハウを蓄積させてもらいたいと思っています。中でも工場での生産過程における技術の向上はスピードアップに直結しますから、重要なポイントだと考えています。

▼会社の将来像

東日本大震災の時には被災地で倉庫を中心に、仮設住宅も建設しました。集合住宅のような建物や一般住宅に近い軽量鉄骨の建物もプレハブハウスで、短時間・低コストで建てられます。一般住宅を手がけるのではなく、プレハブハウスに的を絞り、経済性と早さを追求し続けていきたいと思っています。

所在地 / 沼田市横塚町896-2
連絡先 / TEL0278-20-1110
URL / http://kk-sanei.net/